

パリ同時多発テロ事件から「救急・災害医療」を学ぶ パリから救急医学教授を招き、特別講演会を開催！

横浜市立大学は、医学国際化セミナーの一環として「救急・災害医療」をテーマに特別講演会を開催します。救急・災害医療は、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催を控える日本において重要課題と考えています。本講演会では、パリ・デカルト大学ピエール・カルリ教授を演者として迎え、2015年に発生したパリ同時多発テロ事件の際の救急医療対応をはじめ、パリの先進的な救急・災害医療体制について講演いただきます。

<特別講演会の概要>

日 程：平成 30 年 1 月 31 日（水）16：30～18：00 （受付 16:00 開始）

会 場：横浜マリントワー

〒231-0023 横浜市中区山下町 15 横浜マリントワー 3F

演 題：「PARIS TERROR ATTACKS: LESSONS FOR THE FUTURE」※同時通訳は行いません。

演 者：パリ・デカルト大学ピエール・カルリ教授

（パリ・デカルト大学救急医学教授/AP-HP^{※1} 公立救急医療支援組織 SAMU パリ本部長）

定 員：100 名

Web サイト：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2017/20180131seminar.html>

※別添、チラシもご参照ください。

◆ピエール・カルリ教授プロフィール

1998 年からパリ・デカルト大学救急医学教授および公立救急医療支援組織（SAMU）パリ本部長を務める。国内外における病院前救急医療、救急・災害医療の専門家として、2015年に発生したパリ同時多発テロ事件を始め、数々の大規模災害において傷病者対応の指揮を執っている。パリ・デカルト大学では救急医学教育プログラムを担当し、救急・災害医療に従事する医師及び看護師の育成にあたる。2016年にフランスレジオンドヌール勲章を受章。



※当日の取材をご希望の方は、前日までに下記お問合せ先までご連絡ください

※1 パリ公立病院連合（AP-HP）との連携

パリ公立病院連合（AP-HP）は、パリ及びパリ近郊の公立病院を統括し、救急医療等を提供しているヨーロッパ最大の病院システムで、平成 27 年 1 月に本学及び横浜市との 3 者間で臨床・研究・教育における協力関係の構築へ向けた覚書を締結しました。本学では、これに基づき医師や看護師をパリに派遣し、人的交流を行うとともに医療分野における優れた取組や専門知識の共有を図っています。平成 29 年度は、パリからの視察を受け入れたほか、新たに学生交流の協定を締結し、相互に学生を派遣し実習を行うなど連携を深めています。